



2025 年 1 月 31 日

各 位

会 社 名 新光電気工業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 倉 嶋 進
コード番号 6967 東証プライム市場
問 合 せ 先 経営企画室長 清 野 貴 博
Tel (026) 283-1000 (代)

当社の親会社 富士通株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 時 田 隆 仁
コード番号 6702 東証プライム市場

業績予想の修正に関するお知らせ

業績予想の修正につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	243,300	40,700	40,500	27,200	201.31
今 回 修 正 予 想 (B)	215,000	25,600	25,600	18,000	133.22
増 減 額 (B-A)	△28,300	△15,100	△14,900	△9,200	—
増 減 率 (%)	△11.6	△37.1	△36.8	△33.8	—
(ご参考) 前期実績 (2024 年 3 月期)	209,972	24,810	27,257	18,609	137.73

2. 修正の理由

半導体業界は、AI 向けの需要が拡大する一方で、汎用サーバー、自動車、産業機器向け等が依然として低調に推移し、在庫調整のさらなる長期化の影響を大きく受けるなど、半導体業界全体の回復には至らない厳しい市場環境が継続しております。

このような状況にあって、当社グループにおきましては、在庫調整の長期化等による影響を大きく受け、フリップチップタイプパッケージ、プラスチック BGA 基板、リードフレームの売上が想定を下回るなど厳しい状況で推移しております。

フリップチップタイプパッケージにつきましては、サーバー向けの需要低迷が想定比長期化するとともにパソコン向けは競争激化の影響を受け、プラスチック BGA 基板は、第 3 四半期において先端メモリー向けの需要が下振れ、また、リードフレームは、自動車向けをはじめとして在庫調整が依然として継続するなど、売上は想定を下回る水準で推移し、利益面につきましても、売上高減少の影響を大きく受け想定を下回って推移しております。

つきましては、このような状況をふまえ、2024 年 10 月 25 日に発表いたしました 2025 年 3 月期の連結業績予想数値を修正いたします。

なお、通期業績予想の前提となる第 4 四半期の為替レートを 1 米ドル＝135 円から 140 円に変更しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上